

# 環境に係る情報協議会

## 国営かんがい排水事業 神竜二期地区

### 1. 環境に対する考え方

#### 《農村環境の現状と課題》（各市町村「田園環境整備マスタープラン」より）

##### 【現状】

深川市 市内の各河川において、近年、魚道の設置や親水工法による整備を行うなど、安全で水と緑あふれる地域づくりを目指している。

旭川市 市内を流れる河川は、緑豊かな丘陵地や公園、緑地などとともに、緑の骨格を形成している。河川とその周辺の自然は、生態系を考える上で貴重なビオトープでもある。

秩父別町 緑豊かな農地や森林、雨竜川をはじめとする豊かな水脈を有した自然に恵まれる。

##### 【課題】

深川市 化学肥料や農薬による生態系への影響などが問題となる中、生産のあり方によっては、石狩川においても河川水の汚染につながる懸念されている。

旭川市 多様な生物が生息・生育する水辺を保全するとともに、豊かな自然と調和した水辺の創造を推進する必要がある。

秩父別町 将来に渡り快適な環境や景観を造り上げていくためにも、既存の緑地の保全に努めるとともに、町内の緑化を積極的に進めることが大きな課題となる。

#### 《環境保全の基本的考え方》（各市町村「田園環境整備マスタープラン」より）

深川市 親水機能・景観性の整備促進や自然生態系及び自然浄化力の維持に配慮した河川、農業用排水路の改修を目指す。

旭川市 田園環境の保全に努めるとともに、開発行為や施設整備にあたっては、周辺の田園環境との調和を図るよう努める

秩父別町 景観・緑化に留意しつつ自然生態系に配慮した用排水路等の計画的な整備を図り、豊かな田園地域として更なる向上を目指す。

### 2. 環境配慮計画の策定に向けた調査

#### 《基本方針》

##### ○ 調査位置の考え方

本地区の整備対象施設は用水施設と排水施設に区分される。

用水施設の整備内容は、既設水路の表面処理や目地補修、ポンプ設備の更新等を主とする軽微な改修であり、環境に与える影響は限定的であるとともに、配慮方針の検討に際しては既往調査を活用可能である。

このため、改修や新設に伴い周辺環境が改変される排水路を対象として調査を実施する。

##### ○ 調査項目の考え方

既往調査結果の活用を基本とする。

ただし、本事業で想定している整備によって生育・生息環境に直接影響を与えると想定される魚類、底生動物、植物、水質について現地調査を実施する。

#### 《環境調査内容》

○調査項目 ①魚類 ②底生動物 ③植物 ④水質

○調査方法

魚	類	： 採捕調査
底生動物	： 定性採集法	
植物	： 植物相調査	
水	質	： 濁度、SS